

日 お講 音沢

寺
ごよみ

寺報

発行

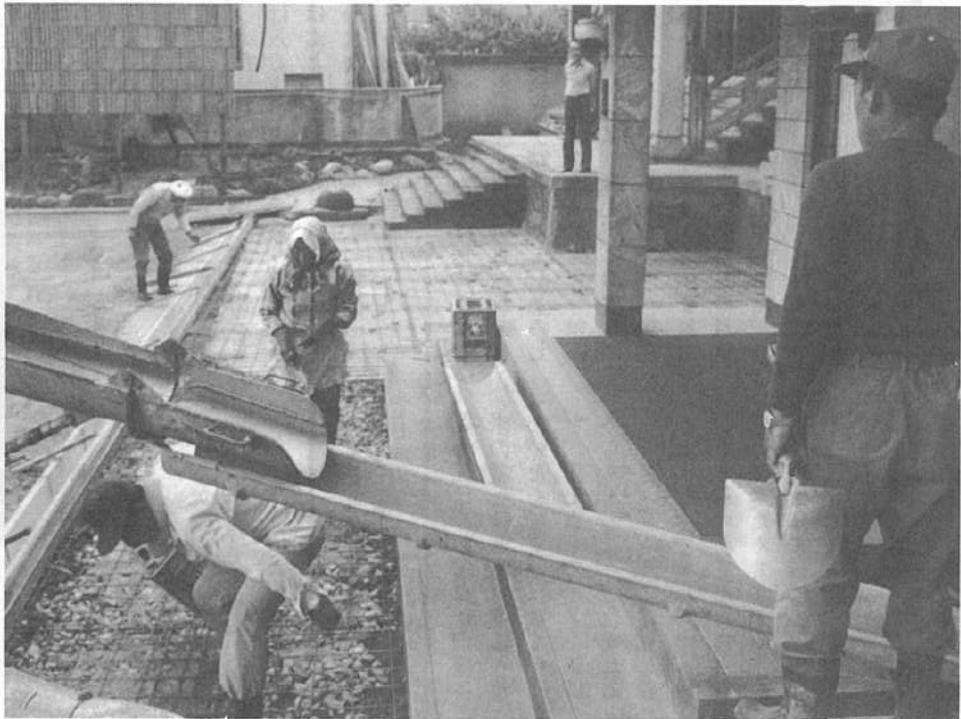
938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山497
白雪山善巧寺
宇奈月 0765(65)0055

水代祠堂会

七月十四日丁二十日迄

り直す方法は無いかと考えていたとき、本願寺経表所で、お軸の表丁もして頂けることを知った訳なのです。今度は、一幅に計三百四個の法名が書き込まれます。真中上段に「南無阿弥陀仏」の六字が、住職の手で書かれ、三百四個の各区画に法名と亡くなつた年月日と、そして俗名を三行に書いて行くのですが、現在、その一区画、一区画を書き込んで行く作業を続けていたとき、本願寺経表所で、お軸の表

二二日 夢のゲートボール大会
お寺の境内で、門信徒の方々の
ゲートボール大会を催しますので
ふるってご参加下さい。
二八日 早朝日曜学校
すが、瓦懇志志納者の内陣法名
は、まだ整理がついておりませ
ん。秋の法要までは仕上がる
予定ですので、あしからずご了
承下さい。



善巧寺境内排水設備工事(6月10日撮影)

絵表所、「えひょうしょ」と訓みます。京都市下京区下魚棚通堀川西入にあつて、本願寺から下附される本尊、名号、祖師、蓮師のお軸を、作制発行しているところです。善巧寺の余間に掛けられている明教院のお姿のお軸も、祖師の絵傳も、此處で作られて居ります。

居る最中で、第一幅目が、先月やつと完成して、二幅目にかかって居ります。皆様の大切な仏様の法名の記入ですから、心を籠めて、清らかな気持で、筆を運びたいものと、空華殿に、一軸を拝げて、一画一画に書写の筆を進めて居ります。沢山の方々ではありますが、亡くなつた月日を書き、俗名を記して居る

絵表所

思議な御縁で、一巻の軸に法名を連ねてある御門徒の御方々が、今は、御遺族の厚い御志によつて、内陣に何時迄も納められている。その総数も、千を越えて、今は、内陣法名希望者は、これから後も、毎年引き続き増加していく。私の代、息子の代、孫の代と、引きつがれるに違いありません。絵表所の新しい法名軸を御覧にいれる日も、間近いことと思われます。

特別講演



日野誕生院輪番

鶯山 諦住師



上の字は明教院僧鎧
師が書かれたもので、
「聞思」(もんし)と読み
ます。親鸞聖人のお言
葉で「仏様のお言葉は
聞いたまま思えよ」と
おぼしめです。

い坊さんを「十人ほど連れていつたことがあります。そしたら、そこのときもこうの幹部の方があいさつなさる。

「今日は、浄土真宗の若いお坊さん方がお越しになりました。そこで、未来の話はそちらにお聞きするとして、只今、現在の問題はわれらが教えを聞かなくてはなりません」と、こういわれました。若い坊さんは入る待たず」でありますからほんとにいつのことかわかりません。「今日とも知れず、明日とも知れず」ですね。

そのいのち、ムダに送つてはもつたないですね。毎日一步一歩、前を向いて、踏みしめて、かみしめた。毎日のように観光バスが二十台三十台とひっきりなしでございました。うれしい悲鳴をあげたところで、今度の法要で出された標語にこんなのがござります。

「いいのち 毎日あたらしいすばらしい言葉ですね。かけがえのないのち」。本当ですね。ふり返つてみますと、私も五十六歳。あつという間のことでありました。

ご本山の昭和の大修復もご門徒の皆様の懇意の結集で、大変立派に仕上がりまして、このほどそのお慶びの法要も無事に終えることができました。

そして、ご本山の参詣を終えられた方々が、私どもの日野の誕生院へもたくさんお参りいただきました。毎日のように観光バスが二

いのち毎日あたらしい

とも知れず、明日とも知れず」ですね。

そのいのち、ムダに送つてはも

さん達は、頭に血がのはつて「未

来の話はどういうことだ」と色

前を向いて、踏みしめて、かみし

めいたんですが、よく考えてみる

と、淨土真宗のイメージは、なに

やら未来のこと、死んだあとのこと

と、というふうにとらえられてい

るようなんですね。

その若い坊さんたちともあとで

とおっしゃつております。

そのいのち、ムダに送つてはも

つたないですね。毎日一步一歩、前を向いて、踏みしめて、かみしめた。毎日のように観光バスが二

十台三十台とひっきりなしでございました。うれしい悲鳴をあげた

ところで、今度の法要で出された標語にこんなのがござります。

「いいのち 每日あたらしいすばらしい言葉ですね。かけがえのないのち」。本当ですね。ふり返つてみますと、私も五十六歳。あつという間のことでありました。

ご本山の大修復もご門徒の皆様の懇意の結集で、大変立派に仕上がりまして、このほどそのお慶びの法要も無事に終えることができました。

まさしく夢の夢ですね。さあ、この私の人生、皆さま方も同じかと思いますが、これから先、もう五十年長生きさせてもらおう……とはちよつと思えませんよね。

お聖人さまの言葉なら「出る息は入るを待たず」でありますからほんとにいつのことかわかりません。「今

日とも知れず、明日とも知れず」ですね。

そのいのち、ムダに送つてはもつたないですね。毎日一步一歩、前を向いて、踏みしめて、かみしめた。毎日のように観光バスが二

十台三十台とひっきりなしでございました。うれしい悲鳴をあげた

ところで、今度の法要で出された標語にこんなのがござります。

「いいのち 每日あたらしいすばらしい言葉ですね。かけがえのないのち」。本当ですね。ふり返つてみますと、私も五十六歳。あつという間のことでありました。

ご本山の昭和の大修復もご門徒の皆様の懇意の結集で、大変立派に仕上がりまして、このほどそのお慶びの法要も無事に終えることができました。

まさしく夢の夢ですね。さあ、この私の人生、皆さま方も同じかと思いますが、これから先、もう五十年長生きさせてもらおう……とはちよつと思えませんよね。

お聖人さまの言葉なら「出る息は入るを待たず」でありますからほんとにいつのことかわかりません。「今

日とも知れず、明日とも知れず」ですね。

そのいのち、ムダに送つてはもつたないですね。毎日一步一歩、前を向いて、踏みしめて、かみしめた。毎日のように観光バスが二

十台三十台とひっきりなしでございました。うれしい悲鳴をあげた

ところで、今度の法要で出された標語にこんなのがござります。

「いいのち 每日あたらしいすばらしい言葉ですね。かけがえのないのち」。本当ですね。ふり返つてみますと、私も五十六歳。あつという間のことでありました。

い坊さんを「十人ほど連れていつたことがあります。そしたら、そこのときもこうの幹部の方があいさつなさる。

「今日は、浄土真宗の若いお坊さん方がお越しになりました。そこで、未来の話はそちらにお聞きするとして、只今、現在の問題はわれらが教えを聞かなくてはなりません」と、こういわれました。若い坊さんは入る待たず」でありますからほんとにいつのことかわかりません。「今

日とも知れず、明日とも知れず」ですね。

そのいのち、ムダに送つてはもつたないですね。毎日一步一歩、前を向いて、踏みしめて、かみしめた。毎日のように観光バスが二

十台三十台とひっきりなしでございました。うれしい悲鳴をあげた

ところで、今度の法要で出された標語にこんなのがござります。

「いいのち 每日あたらしいすばらしい言葉ですね。かけがえのないのち」。本当ですね。ふり返つてみますと、私も五十六歳。あつという間のことでありました。

上の字は明教院僧鎧

でございま

す。

利益求めて椎行雜修になつてゐる

まつたく迷信です。つまらん。ほ

んとつまらん。地に足がついて

みたいですね。

ところで、

私はあると

お念仏をいたくものは、そ

うしてはいけない。フラフラして

いたら、いろんな俗信迷信がはい

りこんできますよ。

りこんできますよ。

宗教団体の

会合に、若き、新しい

生き方をしてはなりません。

しっかりとものをとらえてゆかなくてはいけない。歩ませていただくものであります。

親鸞聖人のお言葉をいただき

ますと—

にまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

親鸞聖人のお言葉をいただき

ますと—

係もないものがはびこっている。

まつたく迷信です。つまらん。ほ

んとつまらん。地に足がついて

いないじやありませんか。

淨土真宗の教えは、そうしたも

のにまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

親鸞聖人のお言葉をいただき

ますと—

ゆえは、信心の行者には、天神地

祇も敬伏し、魔界外道も障辱する

ことなし

ますと—

にまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

淨土真宗の教えは、そうしたも

のにまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

親鸞聖人のお言葉をいただき

ますと—

ゆえは、信心の行者には、天神地

祇も敬伏し、魔界外道も障辱する

ことなし

ますと—

にまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

淨土真宗の教えは、そうしたも

のにまどわされず、さわりなき道

を歩ませていただくものであります。

本願寺本堂 昭和御修復 完成慶讃法要

ご門主ご親教

本願寺新報より

本願寺の本堂であります阿弥陀堂の御修復完成慶讃法要にあたり、ご来賓の方々、僧侶・門信徒の皆様、有縁の方々、よろここご参拝下さいました。

宝暦十年（西暦一七六〇年）に建てられてから二百二十年を経て、いたみが進んでいました阿弥陀堂は、このたびお蔭（かけ）様で立派に修復され、今日、慶（よろこ）びのご法要を迎えることができました。宗門の根本道場として、また人類の文化遺産たる重要文化財としての意義を認めて下さった宗門の皆様のご恩念、宗門外の団体、個人の方々から寄せられましたご園譲、そして関係官庁のご指導とご助成のたまものと、まことに有難く、厚くお礼申し上げます。また専門的な学識や技術をもつて、実務にあたつて下さった方々に深く感謝いたします。

今日、ご参詣（けい）の皆様は本願寺のたどつてまいりました歴史にご関心がおありでしようか。本願寺は宗祖親鸞聖人がご往生になりました後、聖人を慕う方々によつて京都東山につくられたご廟所に始まります。それは宗祖聖人のご影像を安置してあります。その中で、本当に喜ぶべきことを喜び、本当に悲しむべきことを悲しんでいるでしようか。

人のみ教えであります浄土真宗をもち、伝える役割をなうことになりました。それが今日の阿弥陀堂の起源です。それが上人の時以来、戦乱の中で移転を重ねました本願寺は、今から四百年ほど前、この地に落ち着き、何度か建てかえられて、今の御影堂・阿弥陀堂ができま

お念佛とともに力強く心豊かに

つています。一方、本願寺が宗祖聖人のみ教えであります浄土真宗をたら、伝える役割をなうことになりました。それが今日の阿弥陀堂の起源でした。それが上人の時以来、戦

亂の中でも移転を重ねました本願寺は、今から四百年ほど前、この地に落ち着き、何度も改築を重ねました。人生のうえで仰ぐ真実とは、いつでも、どこでも、誰（だれ）にでもあてはまるものではあります。蓮如上人の時以来、戦乱の中で移転を重ねました本願寺は、今から四百年ほど前、この地に落ち着き、何度も改築を重ねられて、

近づいて行き、都合が悪くなるとはければなりません。都合のよい時は近づいて行き、都合が悪くなるときは遠ざかる。しかし、このたびの修復工事を通じて、当

時に熱意を注がれたかが伝わってまいります。このたびの修復工事を通じて、当

なれてゆく人間の心ではなく、どん

なにかが南無阿弥陀仏となつて私に届くの

ことです。そこでは、すべて阿弥陀様のお心を注がれたかが伝わってまい

ります。このたびの修復工事を通じて、

阿弥陀堂の名からもわかりますように、浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来一仏であります。皆様は、阿弥陀如来の心をどのように味わつていらっしゃいますでしょうか。

私は毎日、忙しくあわただしい生活、酷（きび）しい人生を歩んでいます。その中で、本当に喜ぶべきことを喜び、本当に悲しむべきことを悲しんでいるでしようか。

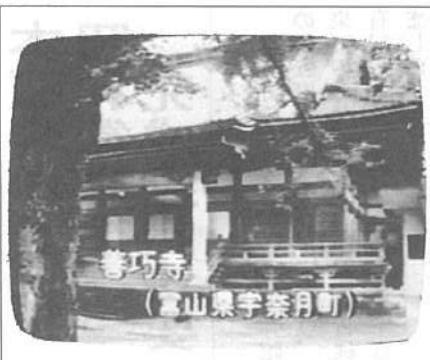
私は毎日、忙しくあわただしい生活、酷（きび）しい人生を歩んでいます。その中で、本当に喜ぶべきことを喜び、本当に悲しむべきことを悲しんでいるでしようか。

しつらすしつらすのうちに、ひとりよがりの喜びにおちいついでいたり、ささいなことに腹を立てて、大切な一日をむなしく過ごしたり、あるいは欲に負けて、してはならないことをしてしまったり、あるいは

切にして、一喜一憂してはいないでしょか。このような私を常に包み、仏に対する誓われた阿弥陀如来

が一番――というわけで、上に、

ご門主のご親教を載せさせていた



昭和60年(1985年)6月21日(金曜日)

音楽

音楽

音楽

音楽

宇奈月の「ことばの教室・雪ん子劇団」

晴れ舞台まで2か月! 児童ら練習に大張り切り



ミュージカルを熱演する雪ん子劇団の子たち

音楽に関する全国五十六ヶ所
「ことばの教室・雪ん子劇団」は、善巧寺(浦山)副住
持の約千人のほか、中村歌
曲の「浦山」で、毎年夏の「ことばの教室」が開催される。この「ことばの教室」は、児童たちが、五十四年、浦山小の児童
劇・劇団協議会と日本児童演劇・ひまわり会の劇団の公演で開催にこぎつけたもので、ジムなど多彩な行事が予定されおり、延べ約三万人が参加する。

同大祭典は、全国児童・青年団体連盟、右衛門らの歌舞伎や、前進座、ひまわり会の劇団の公演で開催にこぎつけたもので、ジムなど多彩な行事が予定されおり、延べ約三万人が参加する。

「ことばの教室・雪ん子劇団」は、善巧寺(浦山)副住持の約千人のほか、中村歌
曲の「浦山」で、毎年夏の「ことばの教室」が開催される。この「ことばの教室」は、児童たちが、五十四年、浦山小の児童劇・劇団協議会と日本児童演劇・ひまわり会の劇団の公演で開催にこぎつけたもので、ジムなど多彩な行事が予定されおり、延べ約三万人が参加する。

現在、園員は小学校一年から六年までの四十六人。五十五年月、同寺本堂の「旗揚げ公演」を皮切りに、これまで九回の定期公演や県内の各種催し物に出演。五十七年の頃ごろもフェスティバル展示部門で大賞を獲得するなど、高い評価を受けている。

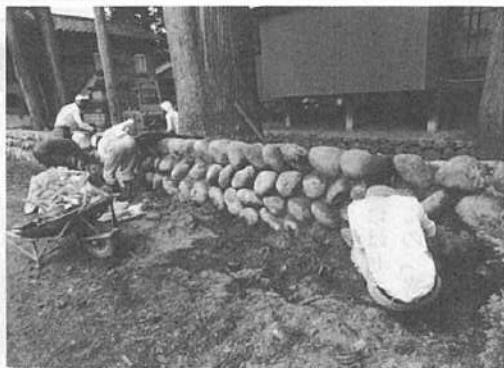
子供のための芸術大祭

8月22日 ポエムファンタジーとミュージカル公演

只今
佐渡遠征
資金カンパ中!



善巧寺
(富山県宇奈月町)



排水工事完成

6/15

お寺の第二期修復工事が六月十五日、完成しました。境内の参道と排水、本堂東側の基礎固めと、

石垣の修復、そして裏庭の排水工

事で、五月八日から、入善の島田工務店さんがすすめて下さったもので、工費は三六〇万円。

これまで、大雨がくると、境内はたれ流しで、照行寺、法輪寺にかなりの迷惑をかけ、裏庭は水がたまりっぱなしで、建て物のくさりを進めていました。

今回の本堂修復を機に、こうした問題を解消しようと、設計を大

排水工事完成にともない、十六日、臨時総代会が開かれました。

今度の工事の責任者である鬼原勝次さんから、工事引受の報告があり、出席者一同、現場を見てまわり、一ヶ月の工事の推移を、ビデ

野和悦氏に依頼、公入札の形をとつて事業をすすめておりました。島田工務店は、善巧寺の門徒さんで、作業員もほとんど門徒さんやのことできんちや」

臨時総代会開く

6月16日



住職日記

六月十六日。日曜日。快晴。入梅後、幾日もたつが、一向に梅雨らしい雨が降る気配がない。幸いに境内の排水工事が完成したのだから、一度、本格的な降雨を見て、排水効果を試験して見たいところだが、時を待たねばなるまい。雲一つない夏空だが、空気は乾燥し、気温も適当で、膚に快よい。

庭の杉の古木の下に出て、除草を始める。日記を見ると、四月十日、庭の残雪がなくなり、お講が始まる前の二時間、二人で草むしり」が合言葉のようになつてゐるあたりは、嫌な雑草を丁寧にひっべきす。無心に作業に従事している時は、昔の人の言つた羽化登仙の心境である。

今日は音沢のお講である。お講当番が音沢からやって来る。乗用車が入って来たと見ると、中から若い女性が、四名ほど降りて来る。そんな車が三台も四台も引きやつて来る。凡て、自ら運転して寺に来るお講当番の皆さんで、お講当番の皆さんが、よし菜料理を作る女性軍の年齢も若返りつつある。

玄関から参道まで、スマートなコンクリート敷設工事が出来ている。本堂東側の土止め工事、垣の石組の組替え工事と、大体予定通りの仕事が予算通り、約束の工期以内に竣工して有難い次第である。次は、竣工後二十二年になる鉄筋庫裡の不完全部分の修理を梅雨明けを待つて始めること。大屋根修理の落慶法要を十月二十日に行うことに就いて話し合われる。

十一時半、お講のおつとめ、お説教。おとき、例の如し。午後三時から、又、庭に出る。

今日はお講の前に総代会議があり、集会所で凡そ三十名の総代方が集つて、十時から開かれる。排水工事完了の報告。本堂前面は、排水溝に金属性の蓋が置かれると共に、

オの記録で確認しました。

このあと、いよいよ、秋の落慶法要に向けての準備体制を整えようということになり、まず、会計の中山慶太郎さんから、瓦懇意の募財収入、及び支出の状況の報告があ

と、誠心誠意、つくして下さいまして、おかげさまで、予算内で万全の排水設備が整いました。十五日の完成式には、お寺から感謝状を贈り、その労をねぎらいました。

総代会はこのあと、七、八月のお講の折に会合を持つて、雨もり防水工事を進める一方、法要の具体的準備にとりかかることにしていました。これを、第三期の雨もり防水工についても、広く、門徒の方に協力を求めてゆこうということで意見一致をみました。

事と、法要費用に当てるわけですが、とにかく、赤字を出さないよう、雨もり工事も、法要も、最少量にとどめる一方、未支納募財についても、広く、門徒の方に協力を求めてゆこうということで意見一致をみました。

寺
ごよみ

八月

一日 早朝日曜学校
二日 一泊間法座で、六日は

三日 早朝日曜学校
四日 一泊間法座で、六日は

五日 こども盆踊り大会
六日 盆会 お寺のお盆の法座

七日 二二日 雪ん子劇団佐渡島公演
八日 二五日 早朝日曜学校 雪ん子夏の定期公演（中央公民館）

境内に親鸞さま

音沢の佐々木岩松さんが寄進

したことから、数年前お寺の境内に何か記念になる銅像をーと思いつて、考えに考えた上、このほど親鸞門に入つて左がわ。明教院さま



麦の秋 宇奈月 夢を語る会

恒例の野休み落語会、今年は迎えて八回目。六月二日の寺の本堂はビッシリ五百人も集まって満員御札。

マスコミのウソにだまされないようにーといふ永六輔さんとの、と

てもユカイなお話にはじまり、二ツ目、柳家小治さんの「寄合酒」、つづいて、真打ち、入船亭扇橋師匠の「紋三郎稻荷」。さすがですね。

そして色物は、この八月にアメリカ留学の決まった美人マジシャン 花島世津子さんの手を変え

のお墓をすぎると、旅姿の親鸞さまのこの銅像。石には「大悲无倦常照我」如来の大悲は倦くことなく、常に我を照らしたまう」といふお正信偈の一句が刻まれています。岩松さん、ありがとうございました。

ん、お寺参りの折にはぜひ、明教院さま、そしてこの親鸞さまにごあいさつなさいませ。

寺の仏教婦人会「白鶴会」が、六月一日、総会を開きました。今年二月によく本山仏婦連盟の役員全員に手渡されました。

総会は、副会長本波ヒサさんか

らの事業報告、田中まつゑ子さんから教区仏婦総会初参加の報告。大庭富美子さんから会計報告があ

る。午前七時のおつとめのあと、子供にもわかる「やさしい仏教講座」

を十五分。みんなで朝がゆをたべて、八時から十時まで、講師の先生を招いて「たのしい勉強」の時間を持ちたいと、只今計画中です。

夏の寺小屋

うらやま日曜学校は、夏休みの期間中、毎日曜日に「夏の寺子屋」を開校します。

午前七時のおつとめのあと、子供にもわかる「やさしい仏教講座」を十五分。みんなで朝がゆをたべて、八時から十時まで、講師の先生を招いて「たのしい勉強」の時間を持ちたいと、只今計画中です。

- ①ウラバンナ(逆さ吊り)の略で苦しみを受けている先祖を、救われるよう願う日。
- ②先祖がもどつてこられるので、盆棚を作つて迎える日。
- ③亡き人の精霊をむかえてまつる日のこと。
- ④子孫に供養されない靈が、逆さ吊りになつてるので助ける日。
- ⑤迷つてゐるのは亡き人ではなくこの私だつたと気づいて、法を聞き、生かされて生きる喜びを味わう日。

益会は孟蘭盆会の略で、釈尊の弟子の日蓮尊者の母が、餓鬼道におちて逆さ吊りにされていた所を

仏法によって救われたという故事からはじまつたものですが、さて正解は—⑤です。わたしたち淨土真宗門徒のうけとり方はこれです。①は日蓮宗②は真言宗③は浄土宗④は天台宗の考え方です。

ラジオやTVでこれらをこぢやませにして話すので、みんな混乱しているようです。八月十六日は寺の盆会です。⑤の心でどうぞお参りを!。



夢の門球大会

昨年暮に第一回の大会を開催して好評を博しました。「夢のゲートボール大会」を、七月二十一日、寺の境内で催します。主催は夢を語る会で、参加は門信徒の方々ならどなたでもOK。チケットを編成して、お早目にお寺に連絡下さい。

夏の夜の一泊聞法

八月六日 午前七時半 後 晚天講座
八月七日 午前五時半 お初夜
講師 本山本部講師 佐々木俊朗先生

今年で八回目の一泊
聞法。

なごやかな夜のお座
さわやかな朝の法座
おさそい合わせの上
ご参集下さいませ。



白鶴会総会開く 6月1日

り、このあと、
画が審議され、

合

掌